

平成27年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果
(平成28年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成27年7月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成28年3月

国体推進局長 国久 敏弘

項 目	実 施 結 果
<p>1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に</p> <p>◇県民総参加の福井国体</p> <p>○競技会および式典の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場地市町および競技団体等と緊密に連携を図るとともに、国体開催に必要な審判員の養成や競技用具等の整備を計画的に進めます。 ・全国から来県する選手・監督などの受入れに向け、宿泊のシミュレーションを実施し、充足対策を進めます。 ・安全かつ円滑な輸送を行うため、具体的な輸送方法やルートの設定、駐車場等の確保を進めます。 ・安全性、効率性に配慮した開・閉会式会場とするため、仮設物等の配置等を行う基本設計を進めます。 ・式典総合プロデューサーの監修により、式典前演技やオープニング・エンディングプログラム、式典音楽などの基本的考え方を盛り込んだ式典基本計画を策定します。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>12月に決定した競技別会期に合わせ、国体運営に必要な審判員の養成数を見直すとともに、他県との競技用具の共同購入や競技補助員の編成など、競技会運営の準備を進めました。また、県外開催競技である馬術競技については、会場地である静岡県御殿場市において、第1回の運営委員会を2月に開催し、具体的な準備に着手しました。</p> <p>競技別会期に合わせ、各県の選手・監督をはじめとする競技関係者の配宿に関し、市町・競技チームごとに部屋を割り当てるシミュレーションを実施しました。宿泊施設が不足する市町については、近隣市町への広域配宿を検討しました。</p> <p>開・閉会式への参加者を安全、確実に輸送するため、輸送経路・輸送時間帯および駐車場・乗降場の分散など、開・閉会式時における輸送の基本的な考え方を示した開・閉会式輸送基本計画を策定するとともに、駐車場等として利用を予定している運動公園周辺の学校や民間施設などに協力を依頼しました。</p> <p>式典や来場者動線に配慮した開・閉会式会場の仮設物の配置等を行うための基本設計を実施しました。</p> <p>福井らしい式典の開催に向け、山根一眞式典総合プロデューサーに指導・助言をいただきながら、式典音楽の考え方などを盛り込んだ式典基本計画を3月に策定しました。</p>
<p>○競技会場施設の計画的な整備と競技力向上【部局連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に際しては、改修時期の分散、練習会場の確保などに留意し、計画的に工事を進め、競技者の競技力向上や県民のスポーツ利用を促進します。 	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>競技会場施設の整備に当たり、競技力向上や県民のスポーツ利用の促進に配慮し、計画的に工事を進めました。この結果、国体までに改修等が必要な43施設のうち29施設で整備に着手しました。(着手率67%)</p>

<p>○県民総参加による県民運動の推進【部局連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催および国体会期の正式決定を受け、開催決定決起大会を8月に開催します。 ・昭和43年国体回顧展を実施し、正式決定を広く県民に周知するとともに、県民や企業の両大会への参加意欲の高揚を図るため、募金・企業協賛制度を創設します。 ・学校、地域等でダンスリーダーを養成し、国体・大会ダンスを普及するとともに、新県民歌等を活用し、両大会の広報活動を進めます。 (平成26年度 -) ・障害者スポーツ大会の円滑な運営に向け、大会開催までに選手団サポートボランティア800人、手話や要約筆記などの情報支援を行うボランティア600人の養成に努めます。 	<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>7月の正式決定を受け、開催準備を進める関係者やボランティア団体の方などが参加した開催決定記念決起大会を8月に開催しました。</p> <p>多くの県民の方に関心を持っていただけるよう、昭和43年福井国体の思い出の品々を紹介する回顧展を嶺北と嶺南で開催しました。(回顧展来場者：約2,300人) また、企業や団体・個人からの協力を得ながら、バリアフリー環境の整備や福井ならではのおもてなし、全国に向けた情報発信などに活用できるよう、8月に募金・協賛制度を創設し、募集を開始するなど、両大会への参加機運の盛り上げに努めました。</p> <p>国体・大会ダンスについては、ダンスリーダー講習会を開催し、学校・地域等におけるダンスリーダーを養成しました。 また、子どもから大人まで延べ約13,000人がダンスを覚え、学校行事や地域のイベント等で披露するなど、県民の皆様が主体となった活動が広がりました。</p> <p>障害者スポーツ大会の円滑な運営に向け、必要な人材を確保するため、県内の大学、専門学校を訪問し、選手団サポートボランティアの養成協力を依頼しました。 また、選手への手話や要約筆記を行う情報支援ボランティアについては、手話・要約筆記関係者を対象としたボランティア参加意向希望調査を実施するとともに、広く県民向けに普及啓発研修会を開催するなど、ボランティアの確保に向けて活動しました。</p>
200人	818人

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)